

常陽新聞

発行所 株常陽新聞新社

本社 〒300-0051 土浦市真鍋2-7-6

筑波大生と地域住民が手をつなぎ合い、互いに交流の場をつくらうと、3月13日につくば市吾妻のつくばセンター地区で、「TSUKUBA新まつり」を開催する。

祭りには現在までに学生や市民から13団体300〜400人の出演が決まっている。筑波大生らでつくる祭りの実行委員会では「出演者だけでなく、地域住民と一緒に参加、楽しむ参加型の祭りにしたい」との思いで、市民に広く参加を呼び掛けている。

実行委員長で筑波大大学院1年の守屋俊甫さん(24)は「つくばに住む学生たちは、地域住民との接点が少ないのが現状。そこで、学生と地域住民のつながりを深め、つくばをさらに元氣

にするために祭りを企画した。祭りが継続し、つくばの新たな文化として定着することを目指している」と

筑波大生ら3月に新祭り

「参加を」と実行委呼び掛け

学生と住民の交流の場へ

話す。

筑波大のよさこいソーランチームの斬桐舞は、市民5チームとつくばよさこい



祭りに出演する筑波大と市民の団体=つくば市内

合同チームを結成。さらに20〜30チームの参加を目標に掲げている。斬桐舞とともにソーランを踊る祭りヒーローの舞神双嵐龍も出演する。

みこし愛好会の筑波桐睦

会は、昨年10月の学園祭でお披露目した重さ約700

キの手作りみこしでパレードする。筑波花火研究会

は、打ち上げ花火を予定し

8)まで。

(齊藤聡)

ている。

このほか、大道芸の披露

やハワイアンバンド、太鼓

などの演奏などもある。さ

らにつくばの物産店や飲食

店など約40店舗も出店し、

祭りを盛り上げる。

問い合わせはTSUKUBA

新まつり実行委員会委

員長の守屋俊甫さん(電話

080・55596・955

8)まで。